

第11回 茨城キヤノンCT懇話会

拝啓

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
この度、茨城キヤノンCT懇話会を下記の通り開催いたします。
ご多忙とは思いますが、何卒ご参加賜りますよう、心よりお待ちしております。

敬具

[日時] 2026年3月7日（土） 14:30～18:00

[会場] 水戸市民会館 中会議室 303

※事前参加登録制

- 参加登録方法：別紙申し込み方法より参加登録をお願いします。
他社CTユーザーの方もご参加いただけます。

- 参加費：無料
- 申し込み締切：2024年3月4日（水） 17:00

* 日本X線CT専門技師認定機構3単位 * 肺がんCT検診認定機構5単位 * 日本救急撮影技師認定機構2単位

プログラム		司会：公益財団法人 筑波メディカルセンター 根本 達哉 先生
14:30-14:35	当番世話人挨拶	医療法人 弘仁会 志村病院 藤咲 禎 先生
14:35-14:50	キヤノン最新情報提供	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
休憩		
となりのCT室セッション		座長： 茨城県厚生連JAとりで総合医療センター 東峰 智史 先生 つくば公園前ファミリークリニック 吉田 諭史 先生
15:00-16:30	施設発表①	医療法人 健佑会 いちはら病院 岡田 直也 先生
	施設発表②	JA茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院 山口 将矢 先生
	施設発表③	医療法人 博仁会 志村大宮病院 浅見 公一 先生
	施設発表④	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院 鈴木 達彦先生
	アンケート報告	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 水戸済生会総合病院 佐々木 允 先生
	シンポジウム：テーマ討論	医療法人 弘仁会 志村病院 藤咲 禎 先生 総合病院 土浦協同病院 長谷川 健 先生
休憩（機器展示）		
特別講演	座長：水戸済生会総合病院 黒羽 克英 先生	
17:00-18:00	「STAT画像所見報告体制をどうデザインするか：ガイドラインと実践」	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線科 赤井 亮太 先生

お問い合わせ先
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 茨城支店
CMSC-kanto-ct-sting@medical.canon

主催 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

参加登録申し込み方法

- ① 本紙をFAX
- ② 本紙内容をE-mail（メールに直接記入or写真またはPDFで添付）
- ③ 弊社担当者へ本紙をお渡し

FAX送信先：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 茨城支店

送信先 F A X 番号 029-858-6500

ご施設名	
ご連絡先 Tel / E-mail	
お名前(フリガナ)	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

※この個人情報は今回の参加申込み整理のために使用させていただきます。

申し込み締切 3月4日（水） 17:00

お申し込み・お問い合わせ先
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
茨城支店 担当者宛
TEL 029-849-0808 FAX 029-858-6500
Mail CMSC-kanto-ct-sting@medical.canon

茨城キヤノンCT懇話会

「X線CT装置 運用アンケート」のお願い

2026年3月7日（土）に開催します『第11回茨城キヤノンCT懇話会』では、事前アンケートを行います。皆様の施設で普段使用されている施設内CT運用について教えてください。アンケートは、**施設1回答でなく、個人1回答**にてご意見を伺いたく存じます。アンケートの結果は、**懇話会にて施設名を伏せた状態**でご報告いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

アンケート回答方法

①本紙をFAX

②本紙を別紙アドレスへE-mail（メールに直接記入or写真またはPDFで添付）

③弊社担当者へ本紙をお渡し

こちらから回答も可能です
(Microsoft Forms)



受付期限 2月16日（月） 17:00

お名前	ご施設名	ご所属	CT経験年数

アンケート内容①

Q1.使用されているCT装置を教えてください。

記載例：Aquilion64、AquilionLightning

Q2.使用されているCT装置の列数を教えてください。

記載例：64列、16列

Q3.主に検査されている部位を教えてください。

記載例：頭部、胸部、腹部、四肢、他

Q4.造影CTは実施していますか。

記載例：あり(〇件/日、〇件/月を教えてください)、なし

Q5.救急対応はしていますか。

記載例：あり(一次救急、二次救急、三次救急、高度救命)、なし

Q6.検査依頼科から3D、MPR、特殊な画像処理依頼(1時間程度の処理を要するもの)の頻度と内容を教えてください。特に依頼されて大変なものがあればお聞かせください。

記載例：毎日、時々(週2、3日)、少ない(週1、2日)、ほとんどない(月1～5回程度)、なし

記載例：大動脈3D、MPR作成、脳動脈3D、冠動脈3D、CPR、整形3D、MPR。

Q7.検査依頼があった際に(検査中も含めて)依頼元から検査内容、方法の相談を受けたり、進言したことがありますか。

記載例：ある(消化器科、腹部の出血がみたいけど、dynamicの方が良いのかなど相談し、意見を述べたことがある。)、ない。

* アンケート内容②別紙へ ご協力お願いします。

アンケート内容②

Q8.検査依頼科から検査もしくは画像から、気づいたこと、意見を求められたことはありますか。ある場合は、依頼科も教えてください。

記載例:ある(夜間当直医の整形外科医師、当直中に頭部単純CT所見についてコメントしたことあり。MRI撮影についての相談あり)

記載例:ある(日勤帯に循環器内科医師、単純胸腹部CTの依頼があったが、造影検査施行について確認相談)

記載例:なし

Q9.依頼科からのCT検査や画像処理要望などで困った事例があったら教えてください。

記載例:業務時間を超える過度の3D処理依頼があった。責任の枠を超える情報提供を求められた。

Q10.依頼科、診療科との連携を行い、院内の運用を改善につながったことはありますか。

記載例:ある(検査効率が上がった、診断効率が上がった、診断に悩まなくなった。無駄な検査を減らすことができた)

Q11.依頼科から診断医、担当医の責任の下に、検査内容・方法の助言、画像所見についての情報提供など依頼された場合に、応えていきたいですか。

記載例:はい、いいえ

Q12.「生命予後にかかわる緊急性の高い疾患の画像（STAT画像）所見報告ガイドライン」に準じて運用されていますか。行っていない場合は理由も教えてください。もし、STAT画像報告を行う上で一番困難に感じることは何ですか？

記載例:運用している、運用できていない

記載例:(医療への貢献となるため、迅速な治療に繋げられるため、見落とし防止のため(医療安全)、技師の業務となったため、etc・・・)

記載例:(忙しくて報告する余裕がないため、誤った報告をして責任を追及されそうだから、先生と気軽に話せる体制ではないから、etc・・・)

困難と感じる理由記載例:読影、判断に自信がない。医師とのコミュニケーションなど

Q13.現在、当直(夜勤)はありますか。放射線科専門医はいますか。STAT画像報告の体制構築は行われていますか。施設内勉強会など実施されていますか。外部のSTATに関わるセミナー参加された経験はございますか。

記載例:当直(夜勤)あり、なし

記載例:放射線科専門医いる、いない

記載例:STAT画像報告の体制あり、なし

記載例:施設内勉強会を行っている。外部のSTATに関わるセミナーへ参加したことがある。

以上、ご回答ありがとうございました。懇話会の企画に活用させていただきます。

※この個人情報アンケート集計の参考に使させていただきます。

受付期限 2月16日（月） 17:00

お問い合わせ先（回答先FAX、E-mail）
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
茨城支店 担当者宛

TEL 029-849-0808 FAX 029-858-6500

Mail CMSC-kanto-ct-sting@medical.canon